

# 作業管理支援の改良

## はじめに

障害者職業総合センター職業センターでは、発達障害者に対する職業リハビリテーション技法の開発・改良を進めるため、平成17年度から「ワークシステム・サポートプログラム」を開始し、その成果について実践報告書や支援マニュアルとして取りまとめるとともに、職業リハビリテーション研究・実践発表会をはじめ、さまざまな機会をとおして発信しています。

本報告書で取り上げた「作業管理支援」は、在職中または休職中の発達障害者を対象に当センターで開発した支援技法であり、令和3年度実践報告書 No. 39 として取りまとめたものです。発達障害者の職場定着においては、職場環境の調整のほか、マルチタスクの遂行など作業管理上の困難さに係る対策が必要な場合があり、マルチタスクを行ううえでの課題に対応した実行機能のアセスメントから、対処方法の検討および実践まで行うパッケージとして開発されました。

開発後、地域障害者職業センターを中心に普及を図ってきたところ、発達障害者以外の障害者への適用や実施方法の柔軟化などを期待する声が多数聞かれたことから、令和6年度からそれらの課題への対応方法について検討し、支援技法の改良に取り組み、その成果を実践報告書として取りまとめました。

本報告書の作成にあたり、滋慶医療科学大学大学院医療管理学研究科教授 岡 耕平氏、明星大学人文学部福祉実践学科准教授及び東京医科大学医学部兼任講師 縄岡 好晴氏、特定非営利活動法人ふうしすてむ理事長 川崎 壽洋氏から、専門的知見に基づき、ご助言賜りましたことを深く感謝申し上げます。

本報告書が就労支援の現場において活用され、職業リハビリテーションサービスの質的向上の一助となれば幸いです。

令和8年3月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
障害者職業総合センター 職業センター  
職業センター長 那須 利久